

# 障害者自立支援機器 ニーズ・シーズ交流会 2025

## 事例報告会

社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団  
なごや福祉用具プラザ 作業療法士 冨板 充

2025年12月19日

Nagoya Assistive Technology Plaza

Nagoya City Rehabilitation Agency



# 障害者・高齢者の自立支援を目的とした福祉用具の総合拠点

なごや福祉用具プラザは、国の定める介護実習・普及センターとして、福祉用具の展示・相談や研修等を行っている。当初より福祉機器センターとして事業計画されていたこともあり、福祉用具の製作・改造、IT相談、福祉用具別活用講座（自主講座）や更に福祉用具・ITに係わるボランティアの育成及び活動の場を持つなど、障害者・高齢者の自立支援を目的とした福祉用具の総合拠点として事業を展開している。

## ①介護実習・普及センター

赤字:令和元年度以降の  
新規事業

- 福祉用具の展示・相談・普及・啓発
- 介護実習・研修 ●家族介護者教室
- 名古屋市高齢者排せつ相談支援事業

## ②テクノエイド機能

- 福祉用具の製作・改造 ●障害者ICTサポート
- 競技用マッチング支援事業
- 福祉用具に関する訪問相談(アウトリーチ事業)の実施
- ネットワークづくりと人材育成で地域の支援力強化

## ③介護ロボット関連事業

- 介護テクノロジー活用推進事業 ●開発相談  
(相談支援プラットフォームの構築)



# なごや福祉用具プラザの特徴

相談

15,512件／年

展示

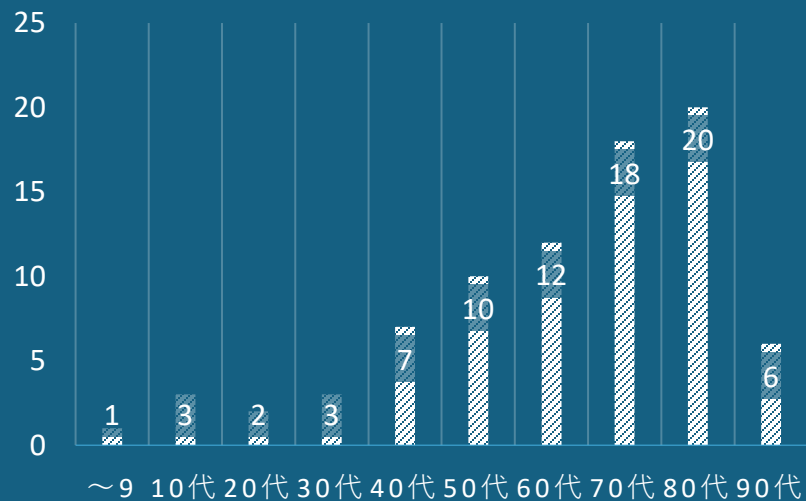
1,132点

体験

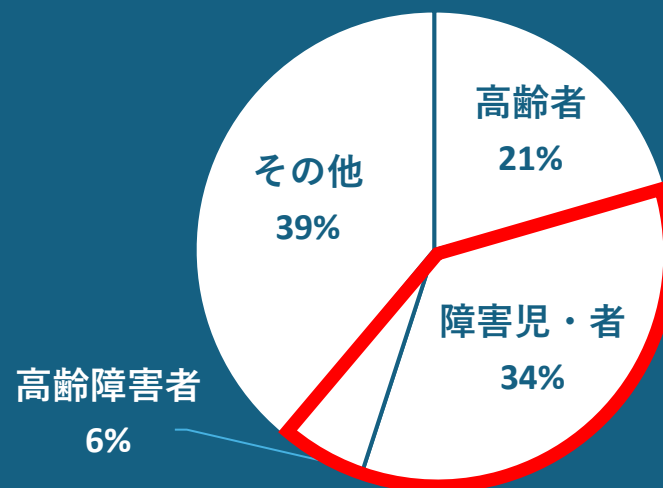
29,604人  
101人／日

情報  
提供

## 相談年齢（％）



## 相談状況



# 職員体制

## ・多職種によるチーム支援

社会福祉士（４） 看護師（７） 理学療法士（２）  
作業療法士（３） リハビリテーション工学技師（５） 介護福祉士（２）  
建築士（４） 医師（２）  
技術ボランティア（３０）（自助具（１２）、被服（５）、ICT（１３））

## ・分野ごとの専門性を生かした評価・提案

### 相談支援

- ・ 来所/電話/専門相談  
訪問/オンライン
- ・ 福祉用具適合相談
- ・ 購入/リサイクル情報

### 専門・技術支援

- ・ 排せつケア相談
- ・ 介護テクノロジー活用相談
- ・ ICT サポート
- ・ 訪問支援
- ・ 競技用補装具の製作・改造
- ・ ボランティア支援  
自助具/被服/ICT
- ・ 住宅改修
- ・ CRARISO / ニーズ・シーズ  
マッチングサポーター

### 地域支援・普及啓発

- ・ 福祉用具の常設展示
- ・ 専門職向け講座
- ・ 学生/市民講座
- ・ 家族介護者教室



1. 家族、支援者への福祉用具の選び方、活用方法の指導
2. アウトリーチ支援  
特別支援学校における支援機器相談会の開催(年5回開催)  
市内重度障害者訪問支援
3. 障害者自立支援協議会への訪問説明会
4. 自助具の製作・改造・技術ボランティアネットワーク化

3Dプリンタで製作した  
マスクかけ、靴下履き



障害者自立支援協議会  
への説明会

家族介護者教室



おしゃべりサロン



特別支援学校相談会



就労場面での用具の製作



水栓の工夫(入所施設)



おむつ選び専門家養成



5. 対象者別研修(一般・専門職向け福祉用具別活用講座)  
障害分野の支援者向け福祉用具・住宅改修セミナー
6. 市民向け家族・地域介護者教室→地域ニーズに応じた教室の開催
7. ICT支援
8. 介護ロボット等活用推進事業、展示会・研修会の開催、意見交換会
9. 企業等への支援機器、介護ロボット、製品開発の支援、情報共有、意見交換
10. 障害のある方向け講座&学習会

## 訪問相談による視線入力 装置の選定・適合評価



## 福祉用具に関する教育場面



## 開発機器への意見交換



## 失語症の人と学ぶ ICT学習会



## ウェルフェア2023介護ロボット企画展

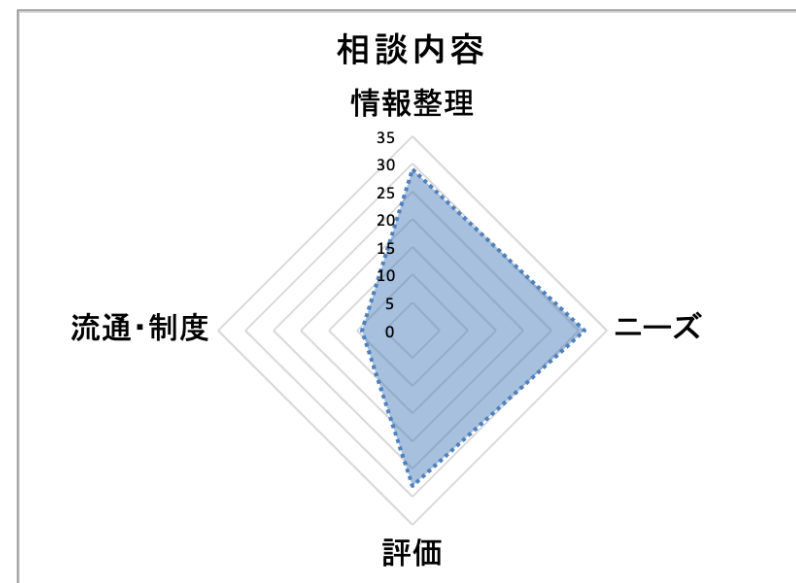
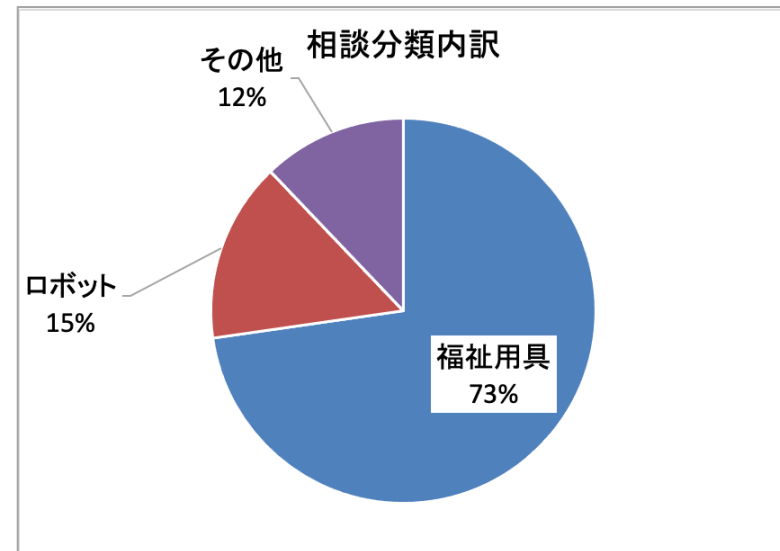
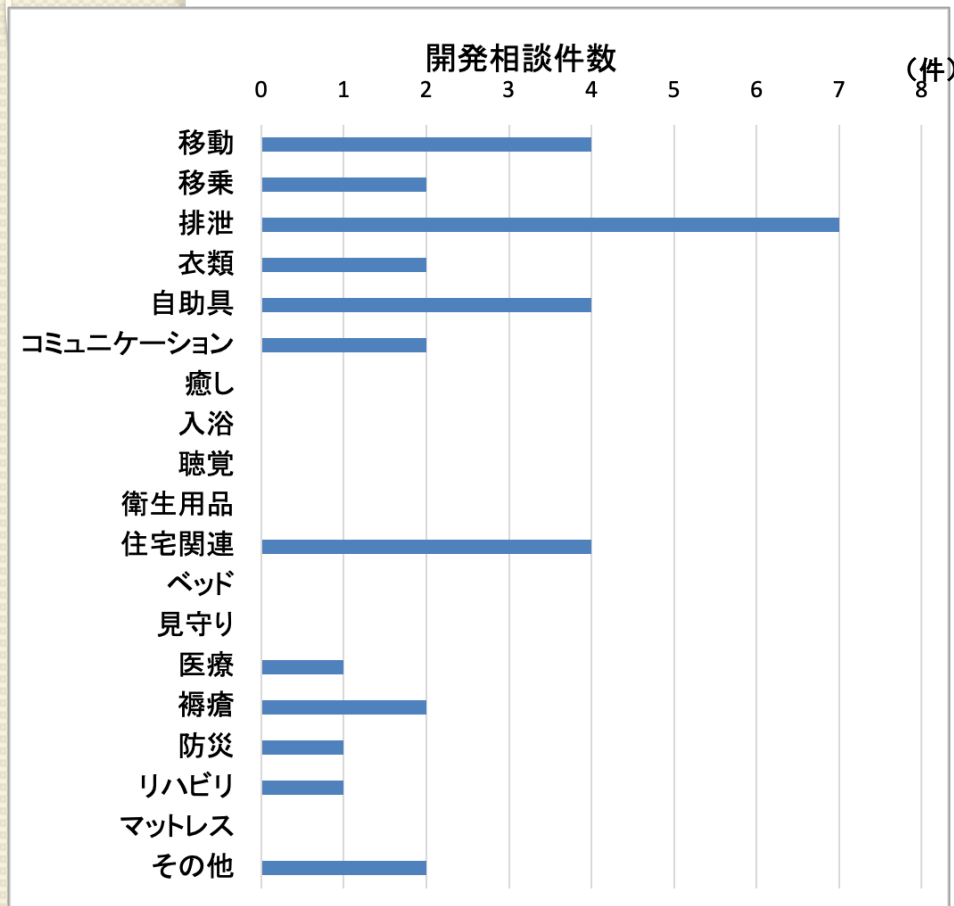


## 介護テクノロジー 施設・メーカー意見交換会



## 障害のある方向け講座





延べ相談件数		33
対応内訳	情報整理	29
	ニーズ	31
	評価	28
	流通・制度	9

情報整理、ニーズ整理、  
評価、販売方法、制度  
など幅広く対応。



## 排泄支援ロボット「キューレット」：生活環境の改善から自力でトイレへ



(当社モニター調査アンケートより)

資料協力:アロン化成(株)

### 特徴

真空排水式のポータブルトイレ。汚物はタンクへ格納され臭気が漏れ出ない。工事不要で可搬型のため、レイアウトが自由に変更できる。



機器の開発



チーム打ち合わせ



使用方法の確認



現場設置

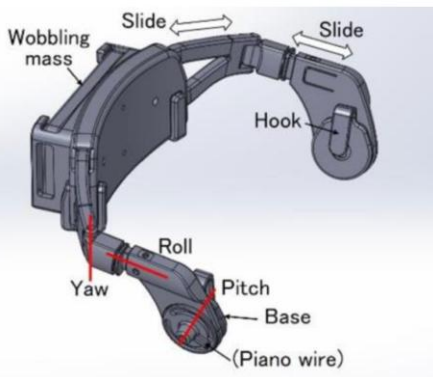


# 産官学連携の開発 歩く喜びを共創する

## 揺れる稲穂型歩行支援機の実用化実験

名古屋市総合リハビリテーション事業団  
名古屋工業大学  
(株)今仙技術研究所

ウェルネスバレー・モビリティ・フレンドリーデイ2025イベント出展



主催: ウェルネスバレー推進協議会    協力: トヨタ自動車    なごや福祉用具プラザ

# ボランティア活動による物作り 生活課題に即した機器の実装



## (一社) 日本リハビリテーション工学協会主催の 「福祉機器コンテスト」機器開発部門にて NFP 技術ボランティア製作の自助具が優秀賞を受賞

このたびNFP技術ボランティアの竹中氏は自助具「片手でゴミ袋の口を縛るロープ」を考案し、福祉機器コンテスト2025に応募しました。書類による一次選考、その後の二次選考でのプレゼンテーションに臨み、見事優秀賞に選ばれました。表彰式が国際福祉機器展 (H.C.R) 会場にておこなわれ、福祉機器開発に挑むメーカーや発明家とともに、福祉機器の開発に寄与した栄誉がたたえられました。



NFP 技術ボランティア自助具グループの皆さん



# 外部連携

## 【行政】



更生相談所

愛知県

あいち介護生産性向上  
総合相談センター

名古屋産業振興公社



名古屋リハ

国立長寿医療  
研究センター

藤田医科大学

## 【医療機関】

名古屋市  
障害企画課  
高齢福祉課  
介護保険課

障害当事者団体

本人

なごや福祉用具  
プラザ

障害福祉サービス

福祉用具サービス

介護施設

障害施設

障害者自立支援協議会

名古屋工業大学

特別支援学校／学級

障害者スポーツセンター

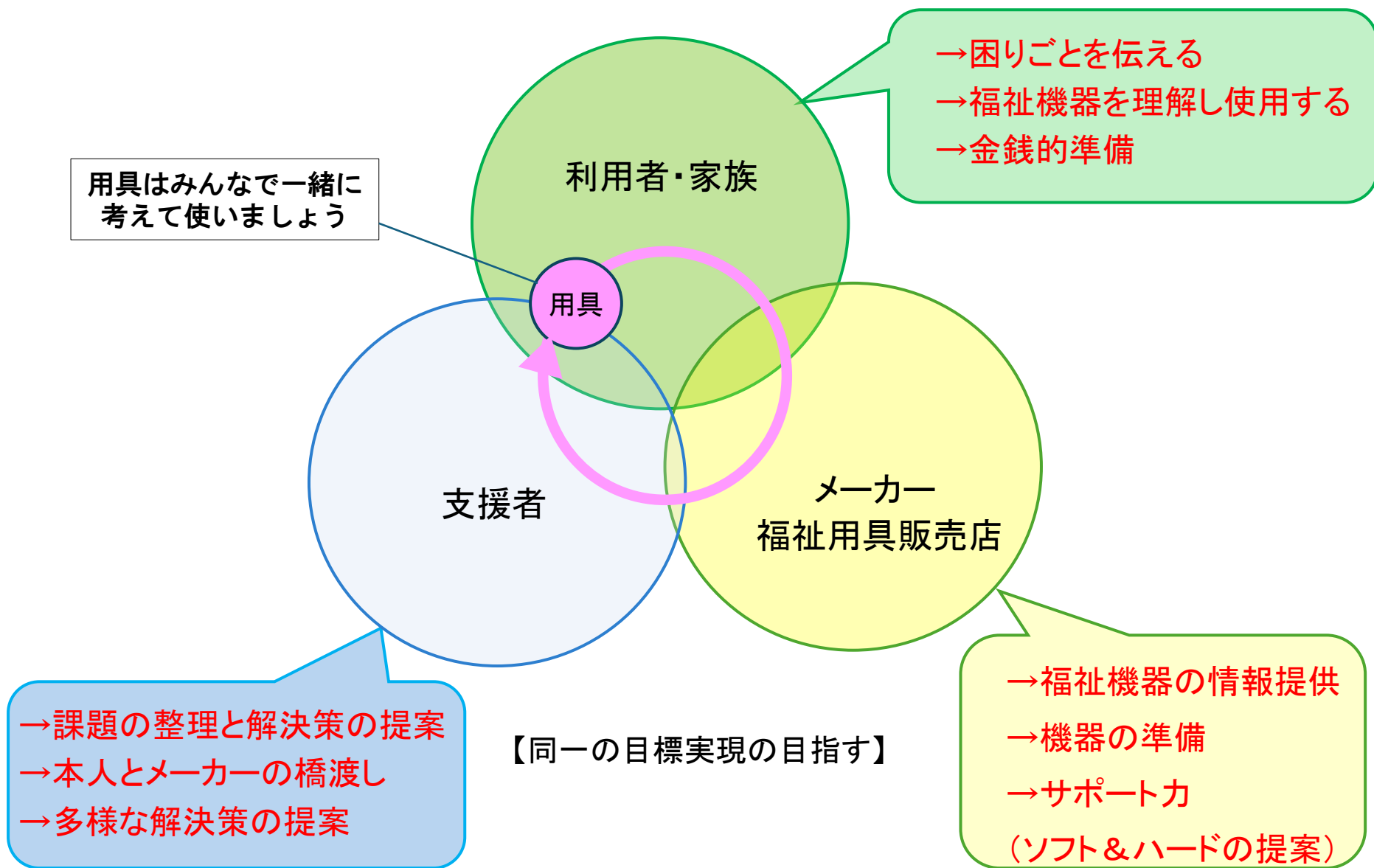
## 【教育・地域】

## 【介護・福祉サービス】





## 【役割】





# 課題と目標の確認（誰が何に困っているのか）

## 【課題焦点化と情報整理の傾向の研究】

主訴		相談結果	
機器の選定・ 適合・利用方法	97%	機器の選定・ 適合・利用方法	67%
機器利用 アセスメント	3%	機器利用 アセスメント	19%
		機器以外の対応	14%

主訴が真のニーズとは限らない

参考:2016リハ工学会「特別支援学校への支援機器の訪問相談活動の報告」

# 導入の課題

## なごや福祉用具プラザの取り組み

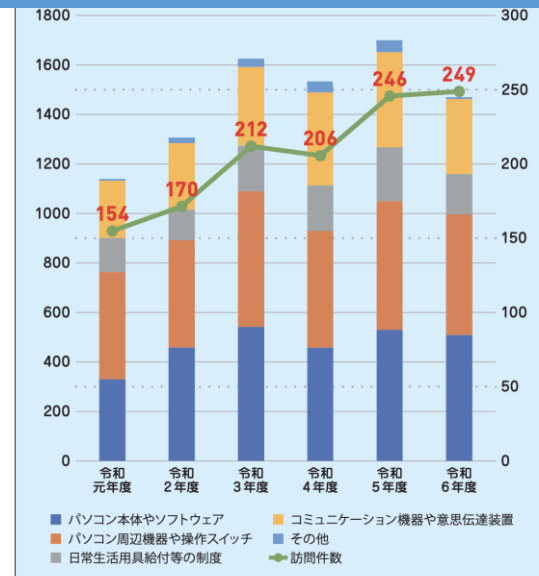
### ICTサポートセンターとは？

なごや福祉用具プラザでは『愛知県障害者社会参加促進事業』として、愛知県から委託を受けて、障害のある方に向けてパソコンなどのICT関連機器の利用相談・情報提供・使いやすくする環境整備などの支援を行う「ICTサポートセンター」を運営しています。また同センターでは、ICTボランティアの養成や講習会の実施など、支援する側のスキルアップをはかる活動も行っています。今回は、コミュニケーションをとるうえでの“困った”を解決する「ICTサポートセンター」についてご紹介します。



#### ICTとは

情報 (information) や、通信 (communication) に関する技術の総称。IT (Information Technology: 情報技術) と同様の言葉となります。



## オンライン情報交換・連絡会の開催

難病者の支援機関との情報共有の場として、令和6年度に情報交換・連絡会を行い、挙げられた課題を解決するための方法を検討しました。

例えば、このような課題が挙げられました

### 導入の課題

- タイミングの難しさ
- 必要性の認識不足
- 進行状況に応じた提案の困難さ
- 支援開始の遅れ

### 知識・経験の不足

- 支援者の知識・経験不足
- 関係者間の連携不足
- 機器選定の困難さ

### 制度や事業所の制約

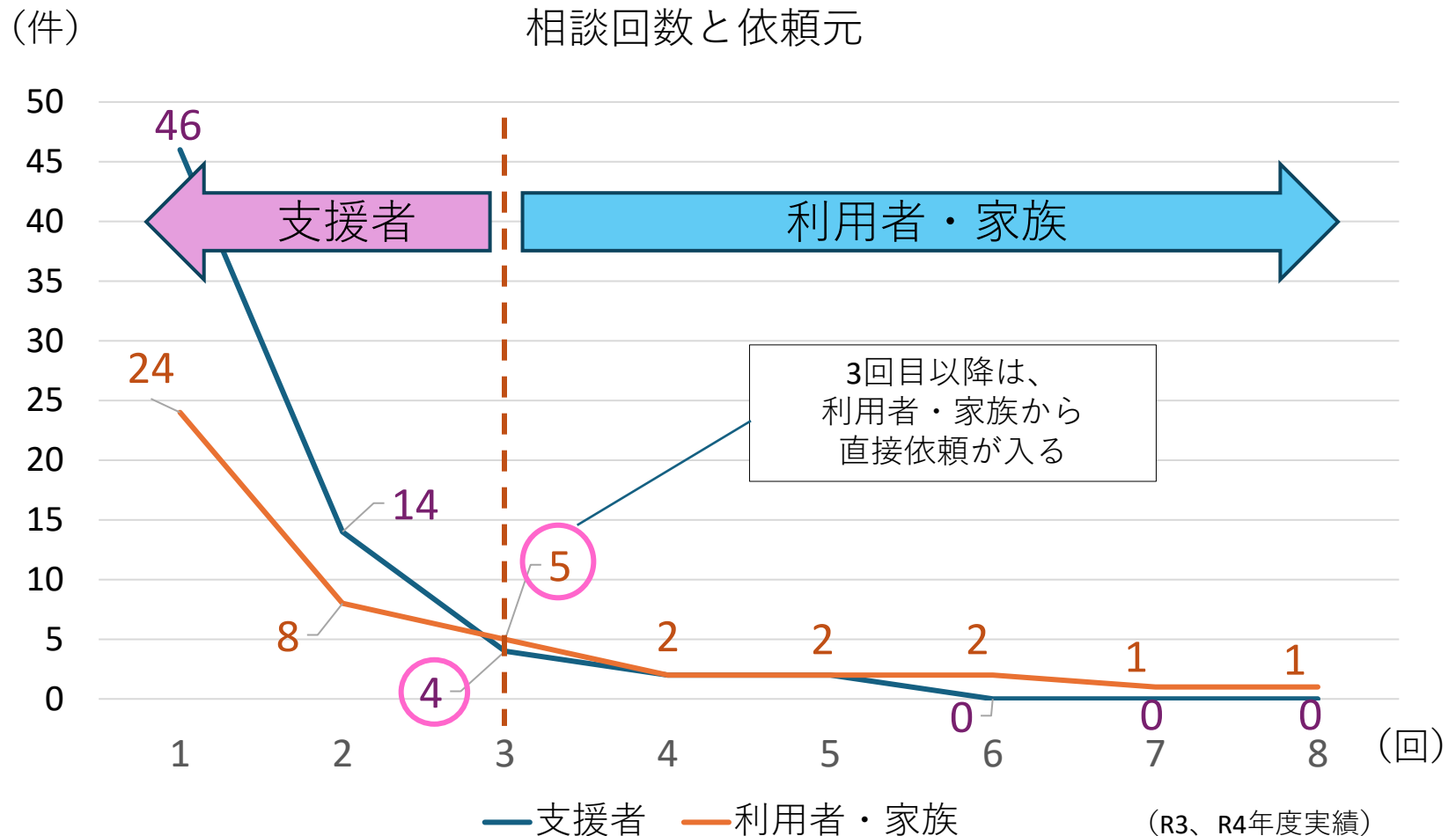
- 行政の対応の変化
- 市の予算不足
- 事業所の不足
- アフターフォローの不十分さ

### 機器利用の実施と調整の難しさ

- 試用機会の不足
- 患者宅での調整
- 進行が早い場合の対応
- 装置導入後の管理

### 情報提供と連携の課題

- 相談先の不明確さ
- 周知の不足
- 情報不足
- 患者教育の難しさ



初回、2回目の相談までは、支援者が福祉用具の導入タイミングを逃さないことで、利用者・家族が福祉用具活用の機会を喪失しないようにする。  
3回目以降の相談では、福祉用具の導入・活用を経験し実感を持って利点を理解できると、利用者・家族から直接依頼が入るようになる。

# まとめ：プラザの対応

課題と目標の確認（誰が何に困っているのか）



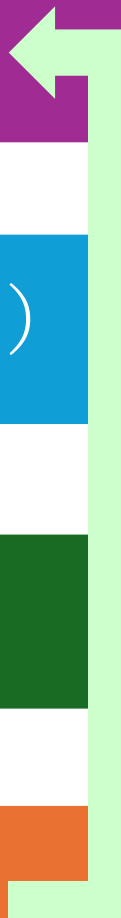
検討できる対応策の情報提供（誰が何をするのか）



本人が決定した対応策の試行



対応策の導入・定着・フォローアップ





*Thank you for your  
attention!*

ご清聴ありがとうございました。



社会福祉法人 名古屋市総合リハビリテーション事業団

**なごや福祉用具プラザ**



まずはお気軽にお問い合わせ・来場ください。お待ちしております☆  
(問い合わせ先)なごや福祉用具プラザ TEL(052)851-0051